



「こころ」の概念に関する多国間調査 —「こころワールドマップ」の作成に向けて—

上田 祥行・中山 真孝・阿部 修士・内田 由紀子・齋木 潤 (京都大学)

【Research Question】

我々は、感覚器官から外界の情報を取り込み、これを再構成することで世界を認識している。このシステムは「こころ(心)」と呼ばれている。こころのシステムには生得的なものと、使用する言語や暮らしている文化など、経験を通じて形成されていくものがある。多くの研究は限られたサンプルで個別のトピックを検討するに留まっているため、この形成過程の全貌は未だ明らかではない。これを解決する一つの方法として、様々な課題を世界の多くの地域で実施し、これらの結果を地図上で重層的に表現し、分析することを提案する(こころワールドマップ, Ueda et al., 2022)。

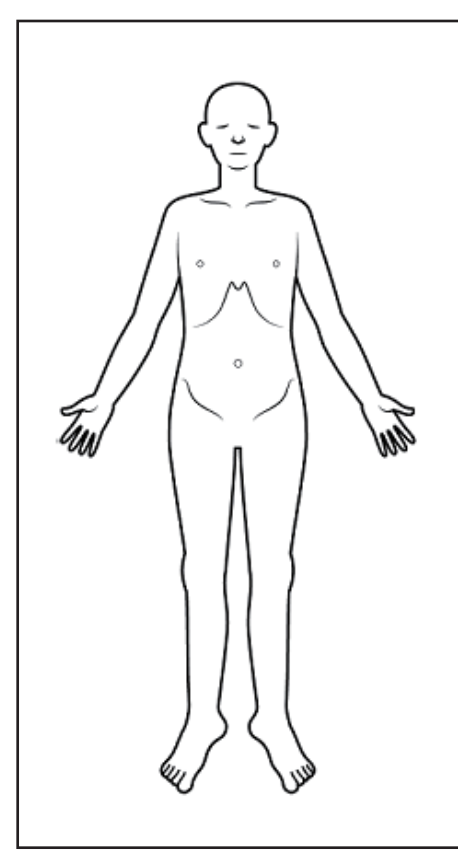
本研究では、各地に住む人々を対象に、こころをどのように捉えているのか(こころの知覚: mind perception, Epley & Waytz, 2010)を描画課題によって調査し、言語や地域によるこころの概念形成の違いについて検討した。

【方法】

実験参加者 41ヶ国・地域から2,878名
(男性1,575名、女性1,263名、平均年齢32.2歳)
使用言語 日本語+国連公用語(6カ国語)の中から自分の母語もしくはもっとも使用頻度の高い言語を選択
(すべての教示は英語と相互にバックトランスレーション)

【課題1】 描画課題(オリジナル)

(バリエーション1) あなたの「こころ」はどこにあると思いますか?
(バリエーション2) あなたの「たましい」はどこにあると思いますか?
(バリエーション3) あなたの「精神」はどこにあると思いますか?
マウスを使ってこれらがあると思う部分を自由に色付けしてください。



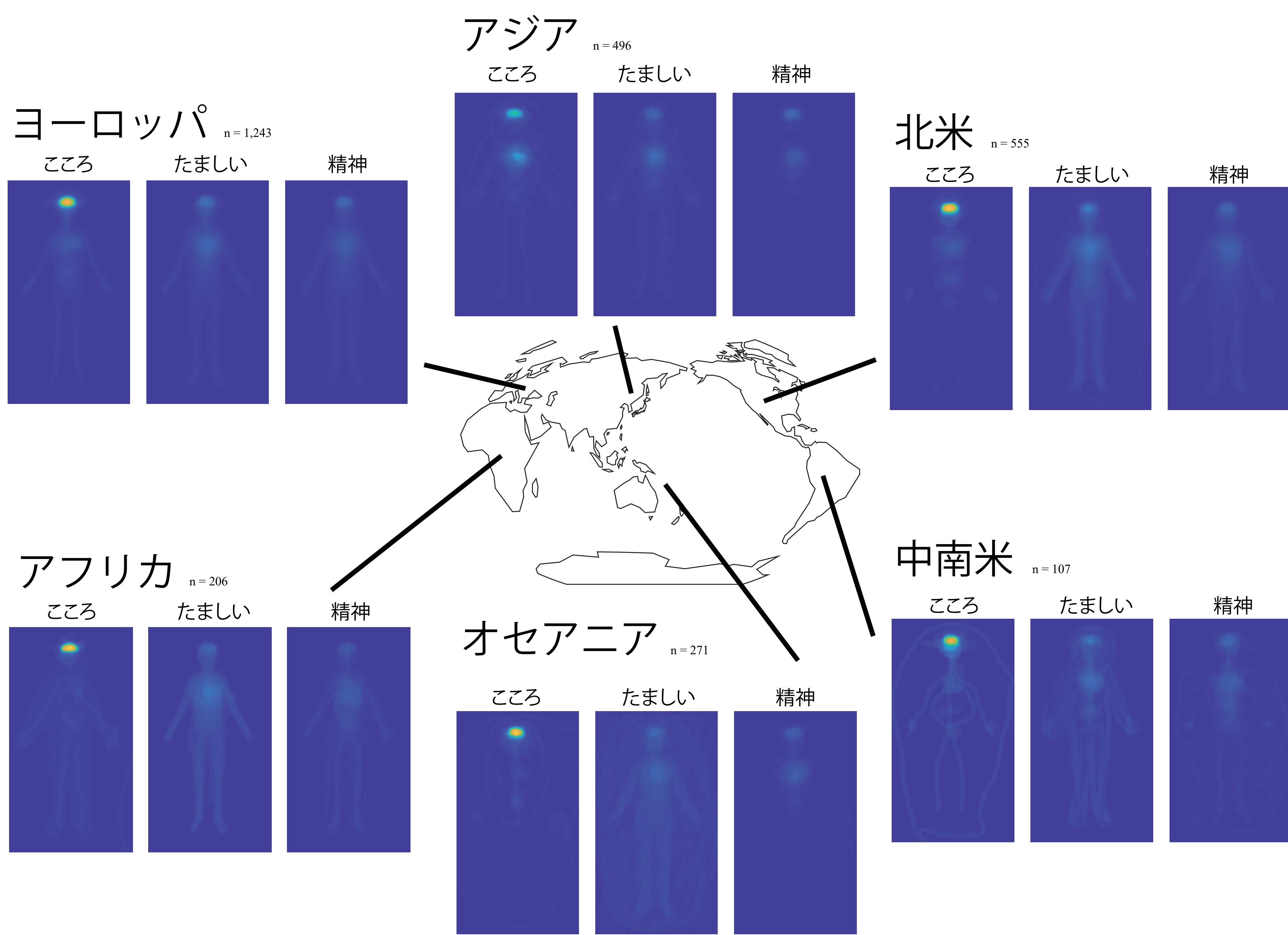
【課題2】 Ojalehto et al. (2017) より改変

「はい」もしくは「いいえ」で回答してください。
1. 植物は太陽光を見ることができるだろうか?
2. 植物は太陽の光に照らされたとき、太陽光を感じられるだろうか?
3. もし切られたら、植物は痛みを感じられるだろうか?
4. 植物は考えることができるだろうか?
5. 植物は太陽を欲しているだろうか?
6. 植物は幸せを感じられるだろうか?

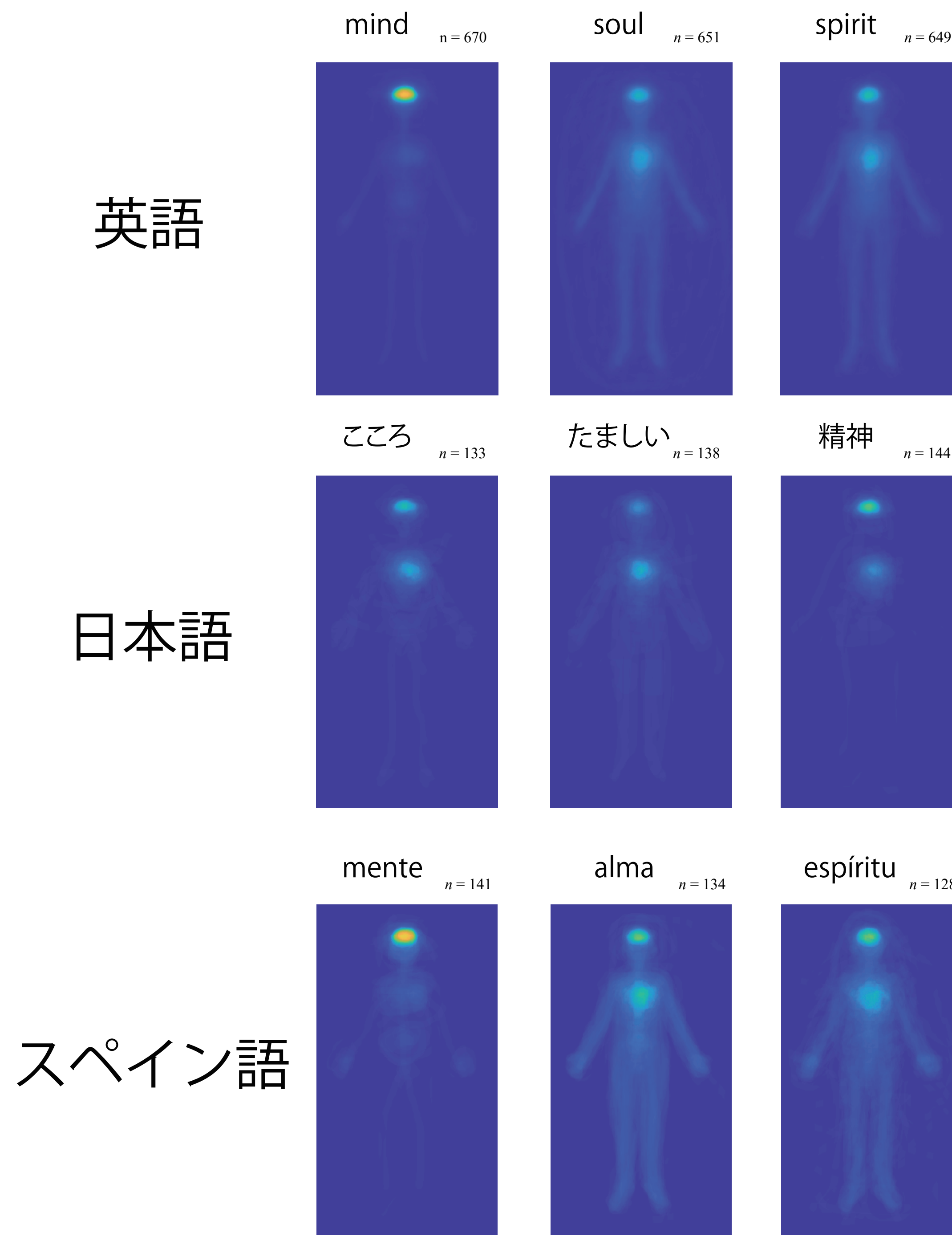
【課題1】 Mind Perception (描画)

※各カテゴリのサンプル数に合わせて正規化済み
※赤くなるほど多くの人が色をつけたことを示す

● 地域による違い (国連の地域区分による)



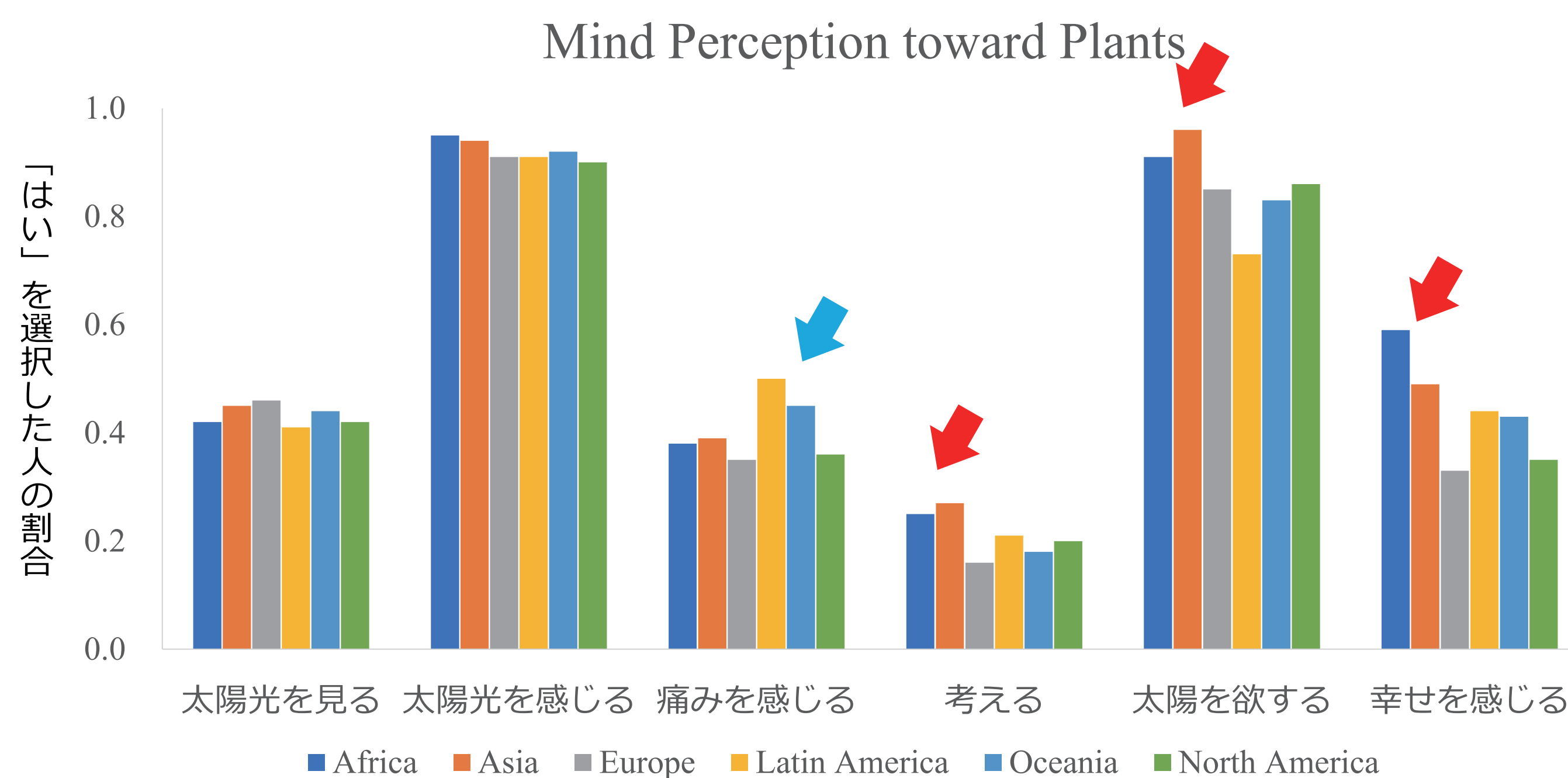
● 言語による違い



こころに関する認識は、地域と言語によって異なることが示された。「こころ」という言葉はアジア(≒日本)では、脳がある頭部と心臓がある胸部がイメージされたが、「たましい」や「精神」は、それぞれ胸部や頭部に重みづけされているようであった。他の地域では、「こころ(mind, mente)」は、脳がある頭部がイメージされた。「たましい(soul, alma)」や「精神(spirit, espíritu)」は頭部と胸部の両方がイメージされる点でアジアの「こころ」に近いが、身体全部のイメージがより強く喚起される点で異なった。

【課題2】

植物のMind Perception



植物のこころの知覚についても地域差が見られた。「考える」「欲する」「幸せを感じる」能力について、アフリカやアジアでは、他の地域に比べて強いエージェンシーを感じていることが示された。一方、「痛みを感じる」能力については、中南米やオセアニアの地域で、他の地域に比べて高く考えられている。(フィッシャーの正確確率検定による, $p < 0.0003$)

これらの結果はドメインによってこころの知覚に地域差があり、先行研究でしばしば指摘されるように、一概に東洋文化圏では西洋文化圏よりもアニミズムが強い、と考えるのは不十分であることを示唆する。

【Summary】

本研究では、言語や暮らしている文化がこころの概念、特にこころの知覚に与えている影響を実証データとして示した。描画課題では、日本語・英語間でしばしば用いられる「こころ ⇔ mind」、日本語・スペイン語間でしばしば用いられる「こころ ⇔ mente」の翻訳が必ずしも同じ概念を意味していないことや、身体において「たましい」「soul」「alma」の示す部位の認識が言語間で異なることが示された。更にサンプル数を増やし他の課題も合わせて行うことで、地域と言語の影響の違いやそのほかの人口統計学的属性(例えば、生まれと育ち、宗教など)を切り分けることで、こころの概念形成に迫ることができる。